

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	集落復興小委員会	主 査 名：後藤隆太郎 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：1)被災集落・地域における被害実態・復興過程を記録、2)居住地の復興計画社会的再建のあり方の議論、3)復興計画の支援。</p> <p>初年度：被災集落の調査研究を行い、復興過程について情報共有、現地等において復興過程に関する公開研究会、書籍等を編纂により研究成果を公開する。</p> <p>2年度：建築学会大会時等において研究集会を企画実施する。</p> <p>3年度：被災地域等において調査研究、居住地の復興計画や関する公開研究会等を実施する。</p> <p>4年度：調査研究、および居住地の復興計画、社会的再建等のあり方を議論する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：後藤隆太郎(佐賀大学)</p> <p>幹事：佐藤栄治(宇都宮大学)、三笠友洋(西日本工業大学)、鈴木孝男(宮城大学)</p> <p>委員：月舘敏栄(八戸工業大学)、石山真季(秋田県立大学)、菊池義浩(兵庫県立大)、沼野夏生(東北工業大学)、大沼正寛(東北工業大学)、重村力(神奈川大学)、澤田雅浩(兵庫県立大学)、山崎寿一(神戸大学)、浅井秀子(鳥取大学)、岡田知子(西日本工業大学)、本塚智貴(人と防災未来センター)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『東日本大震災合同調査報告 [建築編 9] 社会システム/集落計画』 (「集落計画」を執筆担当、2017年 5月)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 『東日本大震災合同調査報告 [建築編]』における農村計画分野の編纂作業を当小委員会が中心となり、刊行した。</p> <p>2. 被災漁村の生活再建の実情や課題の整理を行うとともに、『集住の知恵災害文化編(仮題)』の編集に向け、キーワード整理を行った。</p> <p>3. 2018 年 3 月 26～27 日、小委員会活動を総括すべく「研究会：東日本大震災からの集落復興のいま」を開催し、岩手地域の現地視察を含み、津波被災集落の復興の現状や課題について共同討議する(執筆時後の予定)。</p> <p>以上、概ね良好な成果が得られたといえる。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 本年度で4年の設置期間満了。今後も当該テーマを継続することが望まれる。その際、会合や議論を活発にすべく共同研究実施(研究助成獲得)等が重要。